

【教材・教具名】 ころろ THE シート	【教科・領域】 生活単元学習	【対象】 全学年
-------------------------	-------------------	-------------

【ねらい】

- ・授業でどんなことに気をつければいいのか，視覚的に理解することができる。
- ・生活単元学習の授業において活動の見通しをもつことができる。

○教材の使い方



- ・志教育の3つの視点について段階的な定義を，児童生徒に分かりやすいように簡略化して提示する。
- ・さらに視覚的にも理解しやすいように，図式化して示す。



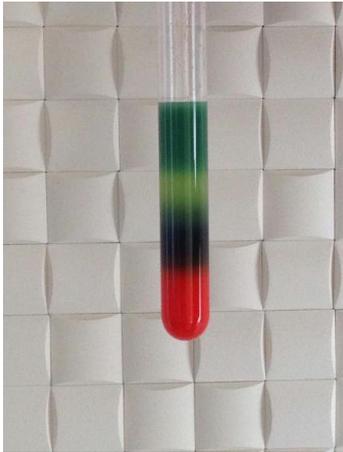
- ・授業は始めに，児童生徒に見通しをもたせるために学習の流れを書く。
- ・学習の流れの中で，志教育の3つの視点に関わる指導のポイントのカードを貼る。

○工夫点

- ・3つの視点を色別して，それぞれの視点の違いを理解しやすいようにした。
- ・様々な生活単元学習で活用できるようにホワイトボードを使用した。
- ・ホワイトボードの裏に指導内容表や手立て表を貼っておき，指導に生かすようにした。

○効果・改善点

- ・志教育の視点や定義を指導案（略案）だけでなく，授業の中で児童生徒に分かりやすく提示することで，児童生徒につけさせたい力を意識して指導することができた。
- ・図に表しにくい定義があり，図案化の検討が必要である。

<p>【教材・教具名】 色水で虹を作ろう</p>	<p>【教科・領域】 生活単元学習</p>	<p>【対象】 高等部</p>
<p>【ねらい】 食塩水と絵の具できれいなグラデーションを作ることができる。</p>		
<p>○教材の使い方</p> <p><準備></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 飽和食塩水（溶けなくなるまで食塩を溶かした水）を用意する。 ② ①の食塩水を，2倍，4倍・・・と希釈する。 ③ 希釈した食塩水に絵の具で色をつける。  <p><やり方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃い食塩水から順に，スポイトで試験管に入れてゆく。 ・初めは2色で行い，3色，4色…と取り組んでいく。 ※勢いよく入れたり，試験管の壁を伝わらせると色が混ざってしまうので，丁寧にぼたぼたと食塩水を滴下するのがコツ。  <p>○工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいなグラデーションになるように，色を指定することも，自分で選ばせることもできる。 ・最初はうまくいかなくとも，アドバイスによって，比較的容易に上達することができる。 		
<p>○効果・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポイトの力加減をうまく調節できず，勢いよく食塩水を入れてしまい色が混ざってしまった時は，教員がやって見せたり，色の数を減らすことでうまく作ることができた。 ・食塩水を入れる順番を間違えて，色が混ざってしまった時は，その次に教員が色の順番を確認して指示することで，うまく作ることができた。 		

<p>【教材・教具名】 裂き織りをしよう</p>	<p>【教科・領域】 生活単元学習</p>	<p>【対象】 中学部3年</p>
<p>【ねらい】 食塩水と絵の具できれいなグラデーションを作ることができる。</p>		
<p>○教材の使い方</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>①裂き織り 拡大見本</p> </div> <div style="text-align: left;"> <ul style="list-style-type: none"> ・導入の段階で裂き織りを説明する際に用いた拡大見本。 ・全体指導で使用するので、織り板はダンボールで、縦糸は色違いのスズランテープで作った。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>②裂き織り 織り板と織り棒</p> </div> <div style="text-align: left;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に生徒が使った裂き織りの道具 (織り板・織り棒) ①織り棒に布(糸)を通す ②織り棒で交互に(同じ色)縦糸をすくって絡める。 </div> </div> <p>○工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦糸をあえて交互に違う色を張ったことで、生徒が見やすく、作業しやすくした。 ・織り棒を用いることで、手先が不器用な生徒でも、通しやすくした。 ・何色の縦糸を通すのかが確認できるように、左右に色を示すシールを貼った。 (例えば右から通すときは青、左から通すときは黄色など) 		
<p>○効果・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は何色をすくうのか分からなくなり、ときどき間違えてしまうことがあった。更に間違えたところをほどいてやり直すことで生徒のやる気を損ねてしまうこともあった。しかし、シールを貼って色を確認できるようにしたことで、間違わずに最後まで意欲的に取り組むことができた。 		